



鈴鹿の風 中西 大輔 議員

財政に対する考えを問う

(質問) 将来世代にツケを回さない意識はあるか。公共施設マネジメントについて、市長自身で直接、市民に説明を行う考えはあるか。公共施設の長寿命化は、将来世代に課題を先送りしている意識を持つべきであり、特定目的基金に積み立てをすべきだが、その点についての考えは。

(答弁) 平成29年度の予算は、歳入の確保が難しいことから、市債発行と財政調整基金から20億円の繰り入れを行うなど、非常に厳しい

状況である。本市の財政状況については、できる限りわかりやすい形で市民に説明していく。

公共施設更新の方針を決定する際は、市民、議員の理解を得ることが必要であると考えており、公共施設マネジメントに関する有識者を招いた講演会の開催などに積極的に取り組んでいく。

特定目的基金への積み立ては、現在の状況では非常に難しいと考えている。

その他の質問

- 市長の社会情勢の認識を問う
- 市民力と行政力の向上について問う

日本共産党 森川ヤスエ 議員

施政方針と平成29年度予算について

(質問) ①子ども医療費について、中学校卒業までの通院費の助成拡大と3歳までの医療費の窓口無料化を三重県下で初めて実施することを評価する。さらに、福祉医療費の窓口無料化を行うことで、県下自治体のモデルとして末松市長らしい先見性が輝きを増すのではないかと。②高齢化社会に対応できる仕組みづくりとして、高齢者福祉の中心課題である介護保険事業は市が直営で行う必要があるの

ではないかと。③学校現場では、老朽施設などのハード面、図書館司書の不足といったソフト面は切実な問題であり、教育予算を10%以上、恒常的に措置する必要があるのではないかと。

(答弁) ①窓口無料化の対象拡大については、財政状況などを見極めながら検討する。

②本市と鈴鹿亀山地区広域連合の双方で、課題や問題点を共有し、共同して解決に当たりながら施策を推進していく。

③予算の編成については、地域の状況を考慮し、事業の優先順位を見極めながら適切に配分できるよう取り組んでいく。

公明党 藤浪 清司 議員

施政方針について

(質問) 防犯対策の、犯罪を未然に防ぐ抑止効果が期待できる防犯カメラ設置計画について尋ねる。気候の変動や局地的集中豪雨による河川の増水が課題であるため、河川雨水対策について尋ねる。すずか応援寄附金を活用した、農水産品や伝統工芸品などのブランド力向上への取り組みについて尋ねる。

(答弁) 声掛け事案や多発する自転車盗難な

どの犯罪抑止のため、近鉄の駅周辺区域に平成31年度までに合計15カ所ほどの防犯カメラの設置を計画している。河川雨水対策には維持管理も重要であり、河川や排水路などの堆積土砂・立木などの撤去や排水機場・雨水ポンプ場の長寿命化対策も適切に実施していく。すずか応援寄附金の返礼品全185品のうち、115品が農水産品・伝統的工芸品である。伊勢型紙のブランド力向上と販売力強化のため、プロデューサーを招聘し振興につなげていく。